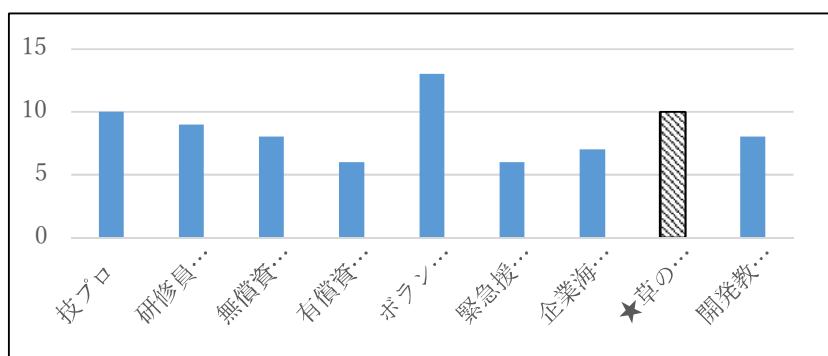


アンケート調査結果

アンケート対象¹189 団体に対し、14 団体から回答（16%）

（内訳：愛知県 12/58、静岡県 0/11、岐阜県 0/8、三重県 2/12）

1. 国際協力機構 (JICA) の事業内容の認知度



- ✓ JICA 事業の中で草の根技協は比較的良好（約 7 割）認知されている。

2. 草の根技術協力事業への関心度

- ✓ 聞いたことがなかった 3 者（21%）および応募したことはないが関心がある 4 者（29%）を合わせ半数が潜在的応募者層と言える。
- ✓ 他方、応募を検討したが、応募しなかった 3 者は、その理由として、人員の不足、待遇が悪い点をあげている。

3. 回答団体の特徴

- ✓ 会員数は 100 人以上が 6 者で最多。次いで無記入 4 者、25 人以下が 2 者。
- ✓ NPO 法人が 6 者、特例認定 NPO 法人が 2 者、任意団体が 5 者。
- ✓ 昨年度の総支出事業費は 100～500 万未満が 5 者、次いで 100 万円未満と 500～1500 万が夫々 3 者。
- ✓ 活動地域は海外＋国内が 6 者、海外のみが 4 者、国内のみが 2 者。
- ✓ 活動分野では子どもの健全育成、子供の貧困への取り組みが 8 者で最多。
- ✓ 上記事業費の主たる財源は寄付金が多く、次いで事業収入と会費収入。
- ✓ 草の根技術協力事業への関心度と団体の規模、活動内容に関係は見られない。

¹ 4 県の NGO, NPO を各県作成のダイレクトリー、NANGOC、JANIC 登録団体等の情報から収集し、これまでに草の根技協を実施した団体及び国際交流活動のみの団体は除外。

4. 活動分野（複数選択可）。

活動分野	国内	海外	国（地域）名
① 保健、医療、衛生又は福祉の増進	1	3	ケニア、スリランカ、比
② 社会教育の推進		3	ハイチ、スリランカ、比
③ まちづくりの推進	2		
④ 観光の振興			
⑤ 農山漁村又は中山間地域の振興		4	ハイチ、ネパール、スリランカ
⑥ 芸術、文化、芸術又はスポーツの振興		2	カンボジア、シエラレオネ
⑦ 環境の保全	1	2	ハイチ、スリランカ
⑧ 災害救援活動	2	3	ハイチ、シエラレオネ、比
⑨ 防災、地域安全活動	1		
⑩ 人権の擁護又は平和の推進	1	1	比、ジブチ、ソマリア
⑪ 国際協力（フェアトレード、開発教育/国際理解教育以外）	1	3	カンボジア、フィリピン、タンザニア
〃（フェアトレード）	1	2	ウガンダ、比
〃（開発教育/国際理解教育）	3	2	スリランカ、ブータン、比
⑫ 男女共同参画社会、ジェンダーの促進			
⑬ 子どもの健全育成、子供の貧困	1	8	ハイチ、カンボジア、ネパール、シエラレオネ、ケニア、スリランカ、タンザニア、比
⑭ 情報化社会の発展			
⑮ 科学技術の振興			
⑯ 経済活動の活性化		1	スリランカ
⑰ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充		3	ハイチ、スリランカ、比
⑱ 消費者の保護			
⑲ 多文化共生	2	1	スリランカ
⑳ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助	4	1	ハイチ
その他（具体的に；食料援助		1	イエメン

5. 主な事業形態および主な活動地（複数選択可）。

活動分野	国内	海外	国（地域）名
① 物資支援（災害等緊急救援を除く）		7	ハイチ、カンボジア、ネパール、ケニア、スリランカ、タンザニア
② 資金支援（災害等緊急救援を除く）		7	ハイチ、カンボジア、ネパール、フィリピン、ウガンダ、ケニア、スリランカ
③ 人材育成（技術等の指導目的）		6	ハイチ、カンボジア、シエラレオネ、ケニア、スリランカ、フィリピン
④ 人的交流（友好親善、視察目的）	2	5	ハイチ、ネパール、シエラレオネ、ケニア、スリランカ、タンザニア
⑤ 情報提供	4	2	ハイチ、ケニア
⑥ 調査研究	2	2	ハイチ、フィリピン、ジブチ、イエメン、ソマリア、エリトリア
⑦ 災害等緊急救援	1	3	ハイチ、シエラレオネ、フィリピン、イエメン
⑧ その他	1		